

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-192	高等学校	芸術	音楽 I	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	※ 教 科 書 名		
17 教出	音 I 308	高校音楽 I 改訂版 Music View		

1. 編修の趣旨及び留意点

本教科書は、教育基本法に示された「教育の目標（教育基本法第二条の第1～第5号）」を、学習活動を通して実現できるように編修しました。様々な楽曲や音楽活動を通して、芸術文化についての幅広い知識と教養を身に付けるとともに、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばしながら生徒一人一人の豊かな情操や創造性を培うことを目指すよう配慮しました。また、教材や学習内容の設定において、自他の敬愛と協力を重んずる態度や生命を尊び、自然を大切にすること、平和に寄与する態度を養うこと、ならびに伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養うことができるよう配慮しました。

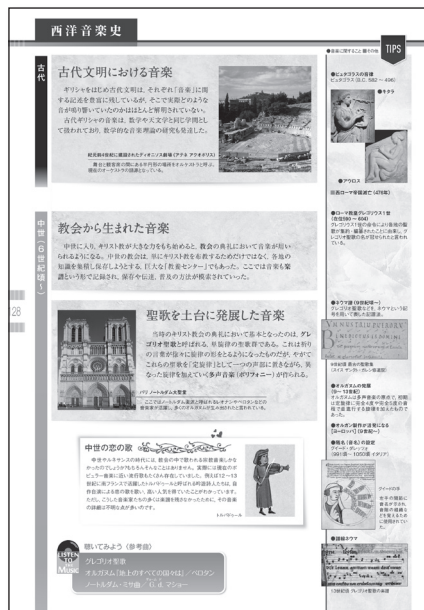
紙面の例

自他の敬愛と協力を
重んずる態度を養う



▲p.16 ア・カペラにチャレンジ

幅広い知識・教養を
身に付ける



▲p.128 西洋音楽史

個人の価値を尊重して能力
を伸ばし、創造性を培う



▲p.25 創作

伝統と文化を尊重する態度を養う

平和に寄与する態度を養う

▲p.72 平家物語と日本の音楽

▲口絵⑥ ロックの歴史を変えたビートルズ

2. 編修の基本方針

本教科書は、教育基本法第二条に示す教育の目標を達成するために、各課の構成と内容、教材の選定について、以下のような方針で編修しました。

構成・内容

- 様々な視点から音楽をとらえながら、その背景となる芸術文化についての理解を深め、幅広い知識と教養を身に付けられるよう教材の選択・配列を工夫しました。
- 様々な音楽活動を通して、個人の価値を尊重し、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うとともに、生徒一人一人の豊かな情操と創造性を培うことができるような構成及び内容としました。

教材の選択

- 個人の価値を尊重し、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うとともに、生徒一人一人の創造性を培うことができるよう教材の選択及び設定に配慮しました。
- 日本や他国の多様な音楽文化にふれながら、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養うことができるよう教材の選択や資料の設定を行いました。
- 時代や曲種等に偏りなく幅広いジャンルの中から教材を選択し、音楽の多様なよさや美しさを感じ取りながら、伝統と文化を尊重し、豊かな情操を培うことができるよう工夫しました。
- 楽曲に込められた思いやメッセージにふれながら、生命を尊び、自然を大切に思う心情や、平和に寄与する態度を養っていくことができるよう工夫しました。

3. 対照表

図書の内容・構成と教育基本法第二条の第1号から第5号との対応を示します。

教育基本法第二条

- 〈第1号〉幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。
- 〈第2号〉個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。
- 〈第3号〉正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。
- 〈第4号〉生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- 〈第5号〉伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
愛唱歌 ア・カペラにチャレンジ	<ul style="list-style-type: none"> 合唱を通して、生徒同士が心を通わせ、自他の敬愛と協力を重んじながら、音楽活動を進めるよう選曲や学習内容を設定しました。〈第3号〉 	p. 4～13 p.16～19
ELEMENTS OF MUSIC	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素の働きを学ぶとともに、創作活動では生徒一人一人が目的意識をもち、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培うよう教材の選択と扱いに配慮しました。〈第2号〉 	p.20～29
TEXT & MUSIC	<ul style="list-style-type: none"> 日本語や様々な国の言語による歌を通して、それぞれの特徴やよさを味わいながら、豊かな情操を培うとともに、他国を尊重する態度を養うよう配慮しました。〈第1, 5号〉 また、生命を尊び、平和への寄与をよびかけるような楽曲も取り上げました。〈第4, 5号〉 	p.30～57 「さとうきび畑」 「Imagine」
DRAMAS & MUSIC	<ul style="list-style-type: none"> 文学や映像作品と音楽のかかわりに焦点をあて、幅広い知識と教養を身に付けるとともに、多面的に音楽をとらえ、豊かな情操を培うよう配慮しました。〈第1号〉 また、シェイクスピアや平家物語などの普遍的な古典作品を取り上げ、伝統と文化を尊重する態度を養うことも意図しました。〈第5号〉 	p.58～73 「ロメオとジュリエット」 「平家物語と日本の音楽」

図書構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
PICTURES & MUSIC	<ul style="list-style-type: none"> 美術作品と音楽のかかわりを、芸術文化の潮流に即して取り上げ、幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操を培うよう配慮しました。〈第1号〉 また、我が国の美術作品が西洋の芸術文化に影響を与えた事象も紹介し、伝統と文化を尊重する態度を養うことも意図しました。〈第5号〉 	p.74～83 「印象主義と音楽」 「表現主義から抽象へ」
MUSIC AROUND THE WORLD <ul style="list-style-type: none"> 日本の音楽 世界の音楽 ポピュラー音楽 	<ul style="list-style-type: none"> 我が国に伝わる楽器や伝統音楽の系譜を学ぶとともに、和楽器を実際に演奏し、その響きや奏法を体験しながら、幅広い知識と教養を身に付け、伝統と文化を尊重する態度を養うよう配慮しました。〈第1, 5号〉 各地の民謡や芸能を取り上げ、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養うよう配慮しました。〈第5号〉 世界の様々な音楽について、その個々の特徴を知るとともに、その背景となる文化や歴史にふれながら、他国を尊重する態度を養うよう配慮しました。〈第5号〉 ポピュラー音楽のルーツをたどりながら、歴史的、社会的背景にもふれ、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うよう配慮しました。〈第1号〉 	p.84～95 p.96～103 p.104～111
音楽史 <ul style="list-style-type: none"> 西洋音楽史 日本音楽史 	<ul style="list-style-type: none"> 西洋音楽の系譜を様々なできごとなどと絡めて学習し、幅広い知識と教養を身に付けるよう配慮しました。〈第1号〉 我が国に伝わる音楽や芸能の系譜について、幅広い知識と教養を身に付け、伝統と文化を尊重する態度を養うよう配慮しました。〈第1, 5号〉 	p.128～133 p.134～137
その他 <ul style="list-style-type: none"> 紹介文・批評文 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が自分の音楽体験を書き記し、互いに発表し合うことにより、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばすことを意図しました。〈第2号〉 	p.124

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

学校教育法第五十一条に示す高等学校教育の目標などを達成するため、以下の点について編修上の工夫をしました。

• カラーユニバーサルデザインに配慮した紙面

色覚特性を踏まえた、判読しやすい配色や表示の工夫により、すべての生徒が学びやすい紙面づくりに配慮しています。

• 環境にやさしい教科書

教科書の印刷には再生紙と植物油インキを使用し、地球環境への影響を少なくするよう配慮しています。

• 見やすさに配慮した紙面

判型は「A4」を採用し、楽譜、文字、写真、図表などの見やすさに配慮しています。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-192	高等学校	芸術	音楽 I	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	※ 教 科 書 名		
17 教出	音 I 308	高校音楽 I 改訂版 Music View		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

本教科書の5つのセクション

音楽を様々な視点からとらえながら、楽曲そのものだけでなく、その背景となる芸術文化についての理解も深めていくことができるように、①「ELEMENTS OF MUSIC」、②「TEXT & MUSIC」、③「DRAMAS & MUSIC」、④「PICTURES & MUSIC」、⑤「MUSIC AROUND THE WORLD」の各セクションを設け、それぞれのテーマに沿って教材や学習活動を選択、設定しました。また生涯学習を視野に入れながら、生徒一人一人の感性を高め、意欲を喚起するとともに、生徒が自ら考える主体的な学習や、個性を生かした創造的な音楽活動を展開していくことができる構成及び内容としました。

紙面の例

①

◀p.20

②

◀p.30

③

◀p.58

④

p.84-85▶

⑤

◀p.80-81

セクション	教材内容
ELEMENTS OF MUSIC	音楽を形づくっている要素とその働きを知覚するとともに、それら进行操作しながら、自分たちのイメージをもとに指導要領に示された各種の創作活動を行うことができるよう配慮しました。
TEXT & MUSIC	日本語や様々な国の言語の特性にふれ、言葉と音楽の結び付きによる効果や詞に込められた作者のメッセージなどを感じ取りながら、音楽活動を行うことができるよう配慮しました。
DRAMAS & MUSIC	文学、映像作品などと結び付いた様々な音楽作品を紹介し、音楽が他芸術と結び付きどのような効果をもたらしているか、また時代を越えた普遍的なテーマや題材により、様々な芸術作品が生み出されていることにも目を向けながら音楽活動を行うことができるよう配慮しました。
PICTURES & MUSIC	美術や音楽などが連動しながら芸術文化を形成した特徴的な時代や潮流を、実際の絵画作品などを掲載しながら紹介し、その背景を知ることによって、より深く音楽に向き合うことを目指しました。
MUSIC AROUND THE WORLD	このセクションは「日本の音楽」「世界の音楽」「ポピュラー音楽」の三部で構成されています。我が国や世界の各地域にはどのような音楽や楽器があり、それらはどのような特徴をもっているか、どのような関連をもっているかなどを地図や年表、イラストを用いて一覧できるよう工夫しました。また、和楽器の箏、三味線、篠笛、和太鼓は基礎的な奏法や練習曲を示し、民俗音楽では声や楽器を用いてアンサンブルで演奏してみることができるよう表現活動も重視しました。生徒にとって身近な「ポピュラー音楽」では形成の過程を社会的背景に照らして丁寧にふれました。
各種コーナー及び資料ページなど	<p>【愛唱歌】，【ア・カペラにチャレンジ】 p.4～19…本教科書の導入部分で、歌い合わせる楽しさや声の響き合いのよさや美しさを味わえるよう工夫しました。また、そのための基礎的な発声へのガイドも示しました。</p> <p>【アンサンブル◆ギター】 p.112～119，【アンサンブル◆リコーダー】 p.120～123…楽器の手ほどきや簡単な二重奏、三重奏のアンサンブル曲を掲載しました。</p> <p>【紹介文・批評文】 p.124…音楽を聴いて感じ取ったこと、感動した体験などを言葉で記し、互いに発表し合う活動を設けました。</p> <p>【コンピュータを活用しよう！】 p.125…コンピュータを用いた音楽制作を紹介するとともに、著作権への配慮を促すコラムも設けました。</p> <p>【西洋音楽史】 p.128～133，【日本音楽史】 p.134～137…各種図版を入れながら、音楽以外の様々な社会事象も絡めてわかりやすく示しました。</p> <p>各種資料ページ… 楽典、楽器の音域表と配置例、作曲家年表、音楽史と史実、リコーダー運指表、ギター&キーボード・コード表などの資料を豊富に掲載しました。</p>

	該当箇所	A 表現												B 鑑賞			
		(1) 歌唱				(2) 器楽				(3) 創作				ア	イ	ウ	エ
		ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ				
		曲想を感じ取り、イメージをもって歌うこと。	曲種に応じた発声の特徴を生かし、表現を工夫して歌うこと。	曲種に応じた発声の特徴を生かし、表現を工夫して歌うこと。	様々な表現形態による器楽の特徴を生かし、表現を工夫して演奏すること。	楽器の音色や奏法の特徴を生かし、表現を工夫して演奏すること。	様々な表現形態による器楽の特徴を生かし、表現を工夫して演奏すること。	様々な表現形態による器楽の特徴を生かし、表現を工夫して演奏すること。	曲想を感じ取り、イメージをもって演奏すること。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じ取り、イメージをもって演奏すること。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じ取り、イメージをもって演奏すること。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じ取り、イメージをもって演奏すること。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じ取り、イメージをもって演奏すること。	声や楽器の音色の特徴と表現上の効果とのかわりを感じ取り、鑑賞すること。	曲の文化的・歴史的背景や、作曲家及び演奏者による表現の特徴を理解して鑑賞すること。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じ取り、イメージをもって演奏すること。	我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴を理解して鑑賞すること。
Heidenröslein (ヴェルナー)	p.48	○	○	○	○												
Wiegenlied (シューベルトの子守歌)	p.49	○	○	○	○												
L'âme des poètes (詩人の魂)	p.50～51	○	○	○	○												
歌曲『月の光』op.46-2	p.53													○	○	○	
歌曲『月の光』<艶なる宴第1曲集>	p.53													○	○	○	
Libera me (『レクイエム』op.48から)	p.54～55	○	○	○	○												
茉莉花 (まつりか)	p.56	○	○	○	○												
アリアン	p.57	○	○	○	○	○	○	○	○								
ロメオとジュリエット	p.58～59													○	○	○	
ウエスト・サイド物語	p.58～59													○	○	○	
Tonight	p.60～61	○	○	○	○												
サウンド・オブ・ミュージック	p.62～63													○	○	○	
My favorite things	p.62～63	○	○	○	○												
ゴジラ	p.64～65													○	○	○	
ゴジラーメイン タイトル	p.64～65					○	○	○	○								
2001年宇宙の旅	p.66～67													○	○	○	
交響詩『ツァラトゥストラはかく語りき』op.30	p.66～67													○	○		
レクイエム	p.66～67													○	○		
『美しく青きドナウ』	p.66～67													○	○		
『ガヤネー』から『アダージョ』	p.66～67													○	○		
アトモスフェール	p.66～67													○	○		
ニーベルングの指環	p.68～71													○	○	○	
ヴァルキューレの騎行	p.69													○	○	○	
義太夫節『平家女護島』から	p.72～73	○	○											○	○	○	○
Kyrie (『死者のためのミサ曲』から)	p.76	○	○	○	○												
管弦楽組曲 第2番から『ポロネーズ』	p.77					○	○	○	○								
序曲『フィンガルの洞窟』op.26	p.79													○	○	○	
三つの交響的素描『海』	p.81													○	○	○	
『月に憑かれたピエロ』op.21	p.83													○	○	○	
日本の楽器相関図	p.84～85													○	○	○	○
箏を弾こう／三味線を弾こう／篠笛を吹こう／和太鼓の響き	p.86～91					○	○	○	○								

